

令和6年度高松商工会議所経営発達支援計画
実施結果

令和7年7月

経営発達支援計画の概要

実施者名	高松商工会議所(法人番号 7470005001064) 高松市(地方自治体コード 372013)
実施期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
目標	当所地区内の小規模事業者の現状・課題や中長期的な振興のあり方を踏まえ、本計画の期間における目標を以下のとおりとする。 ・小規模事業者の自主的な経営計画に基づく経営基盤の改善と強化 ・香川県事業引継ぎ支援センターや事業承継支援ネットワークを活用した、事業承継支援を行う。 ・当所地区内の過半数を占めている商業・サービス業を中心に、販路拡大支援を強力に押しすすめる。
事業内容	当所地区内の小規模事業者の現状・課題や中長期的な振興のあり方を踏まえ、本計画の期間における事業内容を以下のとおりとする。 1. 地域の経済動向調査に関すること 2. 経営状況の分析に関すること 3. 事業計画策定支援に関すること 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること 5. 需要動向調査に関すること 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 7. 地域経済の活性化に資する取組に関すること 8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること 9. 経営指導員等の資質向上等に関すること 10. 事業の評価および見直しをするための仕組みに関すること

1. 地域の経済動向調査に関すること

【実施した事業】

(1) 国が提供するビッグデータの活用

経済産業省の地域経済分析システム、通称RESASを活用し、地域の経済動向分析を行い当所HPに分析結果を公表した。公表データで得られた情報は事業者ごとに販路開拓や事業計画策定に活用していただいた。

(2) 業種別景気動向調査等

管内の業種別に選定した小規模事業者約 150 社に業況、売上状況、仕入価格、経営課題等を質問する「業種別景気動向調査」を行い、当所会報やHPに調査結果を掲載し周知した。データを基に今後の経営方針の策定等に活用していただいた。

【今年度の目標及び実績】

調査内容	令和6年度(目標)	令和6年度(結果)	達成率
(1) 地域の経済動向分析公表回数	1回	1回	100%
(2) 景気動向公表回数	4回	4回	100%

【令和7年度からの取組】

引き続き情報の収集・公表を行うことで当所管内の状況を広く周知し、事業者自身が事業計画を検討する際に活用できるように支援する。

2. 経営状況の分析に関すること

【実施した事業】

(1) 経営分析セミナーの開催

中小企業診断士等を講師とした経営分析セミナーを開催。

「ゼロゼロ融資後の資金繰りと事業計画」では、新型コロナウイルスの影響長期化や原材料高騰など引き続き厳しい状況にあるなか、“ゼロゼロ融資”の据置期間3年が経過し返済が本格化していることから、今できる資金繰り対策と事業計画の作成方法を開設し、物価高騰の困難な局面を打破する為の経営分析手法についての情報提供を行った。

日時	テーマ	講師	参加者数
令和6年6月26日	ゼロゼロ融資後の資金繰りと事業計画	経営デザインコンサルティングオフィス 中小企業診断士 川居 宗則氏	17名

(2) 小規模事業者の経営分析

小規模事業者持続化補助金等の補助金申請支援、融資等の資金繰り相談支援、創業間もない方、これから創業を検討している方等の創業支援を通じて、小規模事業者が経営状況を把握するための分析を巡回・窓口相談を通じて行った。その中で専門家への相談が必要と考えられる専門的な経営課題をお持ちの事業者については中小企業診断士、税理士、弁護士等と連携し支援を行った。

【今年度の目標及び実績】

支援内容	令和6年度(目標)	令和6年度(結果)	達成率
(1) セミナー開催回数	1回	1回	100%
(2) 経営分析件数	170件	180件	106%

【令和7年度からの取組】

引き続き、経営分析を行いながら事業者支援を行っていく。今後は、傾聴と対話を通じて、本質的な課題を的確に把握し、支援に繋げていく。

3. 事業計画策定支援に関すること

【実施した事業】

(1) 事業計画策定セミナーの開催

BCP計画策定の要点を伝える中小企業BCP策定セミナー、経営革新計画策定のコツを伝える経営革新塾、事業承継計画を考える上でのポイントを伝える事業承継セミナー(香川県事業承継・引継ぎ支援センターとの共催)を開催。事業者が計画を策定する為に必要となる情報を提供する各種セミナーを開催した。

日時	テーマ	講師	参加者数
令和6年7月22日 ～7月29日(全3回)	中小企業 BCP策定セミナー	(株)BCPJAPAN 山口 泰信氏	延 118 名 (内 WEB 延 94 名)
令和6年8月22日 ～8月29日(全2回)	経営革新塾	やまぐち総合研究所(有) 中村 伸一氏	延 32 名
令和7年2月12日	事業承継セミナー	中小企業基盤整備機構 中川 庄一郎氏 (株)日本 M&A センター 伊奈 幸三郎氏	28 名

(2) 窓口・巡回相談における事業計画策定支援

創業時の事業計画、経営相談時の事業計画策定等の支援を行った。令和6年度はエリア毎に担当する職員を決め、1年以上当所と接触の無い部会所属の会員事業所と新設法人の非会員事業所並びにNTTのデータより抽出した非会員事業所の巡回を実施し、必要な支援へつなげることができた。

【今年度の目標及び実績】

調査内容	令和6年度(目標)	令和6年度(結果)	達成率
(1)事業計画策定支援事業所数	60件	129件	215%

【令和7年度からの取組】

引き続き事業計画策定支援を継続して行うことで各事業所の課題を明確にし、必要なセミナーの開催や窓口・巡回相談により伴走型の支援を行っていく。特に、DX/IT 化セミナーを開催し、競争力向上を図る。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

【実施した事業】

(1)各種補助金採択後や事業計画策定後に定期的なフォローアップを実施

小規模事業者持続化補助金をはじめ、事業再構築補助金、市県補助金等の事業計画策定支援後のフォローアップ、資金繰り相談後のフォローアップ、創業支援者へのフォローアップを行った。経営支援システム Biz ミル、カルテ管理システム toas を活用し経営指導員間の情報共有を行うことで組織的な経営支援を行った。

【今年度の目標及び実績】

調査内容	令和6年度(目標)	令和6年度(結果)	達成率
フォローアップ対象事業者数	60件	178件	297%
頻度(延回数)	330回	455回	138%
売上増加事業者数	30件	15件	50%
利益率5%以上増加の事業者数	30件	11件	37%

【令和7年度からの取組】

引き続き事業者へのフォローアップを継続して行うことで、事業者が事業計画達成する為に必要な伴走型支援を行い、事業者が自立して事業を継続・発展できるよう支援する。

5. 需要動向に関すること

【実施した事業】

(1)県外バイヤーに対し需要動向調査を実施

当所が行っている販路開拓支援GROWUPプログラム事業を通じて展示会への出店を行う中で、商品のデザイン、価格設定、品質や技術力、伝統や産地など商品の付加価値、味・利便性、市場トレンドとの整合性、消費者への売りやすさ、バイヤーとしての仕入れやすさ等の各ポイントに関する需要についての動向調査を実施した。

GROWUPプログラムの参加事業者は3か年計画の1年目(R4年度)は8事業者、2 年目(R5年度)は21事業者、最終年度(R6年度)は 18 事業者であった。3年連続の参加は3事業者。

(2) 各事業者の顧客・消費者に対し需要動向調査を実施

出店した2つの展示会及び丸亀町商店街で実施したチャレンジショップにおいて来訪した顧客、消費者に、主力商品に対する評価をヒアリング調査、購入後のアンケートにより調査を行った。

【今年度の目標及び実績】

支援内容	令和6年度(目標)	令和6年度(結果)	達成率
(1)バイヤーへの需要調査事業者数	15件	15件	100%
(2)顧客・消費者への調査事業者数	5件	23件	460%

【参考】各展示会等への参加企業数

展示会等名	参加企業数
GOOD LIFEフェア 2024	7 事業者
feel NIPPON	8 事業者
チャレンジショップ	16 事業者

※GOOD LIFEフェア 2024 とfeel NIPPON の重複参加者は5事業者

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

【実施した事業】

(1) 他団体主催商談会・展示会への出店支援事業

セミナーによる参加事業者の販路開拓に対する知識の充足と実際に展示会へ出店することで販路開拓に寄与する取組を行った。

①GROWUPプログラム事前説明会開催

GROWUPプログラムの趣旨や取組内容についての説明会を行った。

②第1回GROWUPプログラムセミナー開催(18事業者が参加)

展示会主催者並びに参加事業者が挨拶を行い、特別講師を招き、マーケティング戦略の基礎と商品開発の考え方等の説明を行った。

③第2回GROWUPプログラムセミナー開催(11事業者が参加)

特別講師より、ブランディングの基礎とファンマーケティングの考え方等の説明を行った。今後参加予定の展示会での見せ方や営業方法について説明を行った。

④GOOD LIFEフェア 2024 への出店

サステナブルなライフスタイルに関心が高い消費者やビジネス関係者が集まる国内最大級のイベント。3日間の来場者数は約 4 万人、出展者数が 648 社・団体となる 782 ブースにのぼった。当所からは、7事業者が出展し、3日間で総売上約 58 万円、総商談件数 62 件を獲得することができた。

GOOD LIFEフェア 2024 の様子	出店ブースの様子
	

⑤第3回GROWUPプログラムセミナー開催(10事業者が参加)

1回目、2回目のセミナー参加者からの「意見交換の場が欲しい」との要望に応え、グループワークを導入。過去2回のセミナーで学んだことのアウトプットを行い、他の企業と共有することで、新たな気づきを得るものとなった。

⑥feel NIPPON フェアへの出店

日本商工会議所が主催する、全国各地の商工会議所と地域事業者が連携して地域活性化を目指すプロジェクト。今回は、「第37回グルメショー春2025」(「第99回東京国際・ギフトショー春2025」同時開催)の中での企画展として実施された。ギフトショー全体でみる3日間の総来場者数は約22万人。)地域資源や伝統の技を生かした特産品などを集めた共同展示商談会であり、全国から25商工会議所が出展。当所からは8事業者が参加し、総成約見込9件、継続協議52件の結果となった。

feel NIPPON フェアの様子	出店ブースの様子
	

(2) 当所主催商談会開催事業

事業者が新商品・新サービスの提供を行うチャレンジショップ事業を丸亀町商店街けやき広場で開催した。直接エンドユーザーへPRを行い、生の意見を聞くことで商品・サービスのさらなるブラッシュアップ、販路拡大につなげる機会となった。

【チャレンジショップ事業】



【今年度の目標及び実績】

支援内容	令和6年度(目標)	令和6年度(結果)	達成率
(1)他団体主催展示会出展企業数	15件	15件	100%
(1)成約件数/件	10件	9件	90%
(2)当所主催商談会参加事業者数	15件	16件	107%
(2)成約件数/件	10件	0件	0%

※当所主催の商談会は来店者すべてが最終消費者の為成約件数は0件でカウント

【令和7年度からの取組】

令和4年度から3年計画で事業者の商品開発、販路開拓を行う支援を開始した。1年目は専門家を活用し商品開発に必要なスキル・知識の習得に努めた。2年目となる令和5年度は1年目で得ることができた情報を基にした商品開発等を通じてテストマーケティング・展示会への出店につながる支援を行った。3年目となる令和6年度は展示会での実績や今後事業者が販路開拓について自走ができる支援を行った。

令和7年度は、経営状況の分析、事業計画策定支援を行った事業者で国内外に販路開拓を希望する小規模事業者を対象に首都圏や海外の販路開拓をできるような機会の提供といった支援を行う。

7. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

【実施した事業】

- (1) 高松市中心市街地活性化協議会を開催
- (2) 第 57 回さぬき高松まつり総おどりに高松商工会議所連として参加
- (3) 丸亀町商店街けやき広場にてチャレンジジョブ事業を開催

【令和7年度からの取組】

引き続き、地域経済の活性化に資する取組を継続する。

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの情報交換に関すること

【実施した事業】

- (1) 経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会への出席
- (2) 香川県6商工会議所中小企業相談所長会議の開催
- (3) よろず支援ネットワーク連絡会への出席
- (4) 価格転嫁の円滑化に関する協定担当者会議への出席

他団体と情報交換ができる各種会合へ出席。事業者の経営課題の解決を図る為の支援ノウハウ等の情報交換を行った。

【令和7年度の取組】

引き続き各連携機関と情報交換を行いながら継続した支援を行う。

9. 経営指導員等の資質向上に関すること

【実施した事業】

支援担当職員が中小企業大学校や日本商工会議所が主催する各種研修会並びに香川県下商工会議所経営支援担当職員研修に参加した。

ITパスポート講習会への参加。会場またはオンライン講義に職員が受講した。令和6年度中のITパスポートの取得者数は10名であった。現在、ITパスポートは、職員29名中25名(86%)が取得している。

当所管轄のエリアを13に分けそれぞれに2名の担当を決めて巡回等を行った。2名のペアは経験のある職員と経験の少ない職員をペアにすることで実際に事業者への対応時にOJTを行った。令和6年度は、1年以上当所と接触の無い部会所属の会員事業所と新設法人の非会員事業所並びにNTTのデータにより抽出した非会員事業所の巡回を実施した。

職員向けの経営支援スキルアップ研修会を開催した。中小機構 四国本部 中小企業アドバイザーを講師として招き、支援能力の向上と効果的経営手法の習得等に努め、総合的な支援能力の向上を図った。また、当所課長による融資相談サポート基礎等の伴走支援時の対話術等について勉強した。

日時	テーマ	講師	参加者数
令和6年5月31日	経営支援に必要な対話力	中小機構四国本部 中小企業アドバイザー 高橋国男氏	15名

令和6年6月11日	事業計画策定のポイント	中小機構四国本部 中小企業アドバイザー 高橋国男氏	18名
令和6年7月9日	創業支援のポイント	中小機構四国本部 中小企業アドバイザー 藤村靖治氏	16名
令和6年8月19日	web マーケティングの基礎	中小機構四国本部 中小企業アドバイザー 多田優之氏	13名
令和7年3月18日	伴走支援における効果的な対話術	当所事業推進部 経営支援1課長 堀上大介 経営支援2課長 川滝秀明	18名

相談内容を経営支援ツール(toas,Bizミル)へ入力し職員間の情報共有並びに情報の蓄積を行い支援内容の共有を図った。

【令和7年度の取組】

引き続き、経営指導員等一人ひとりの支援能力の底上げを図り、個人に帰属しがちな支援ノウハウを組織内で共有する仕組みを構築していく。

10. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

【実施した事業】

令和5年度の経営発達支援事業実施結果について有識者による評価委員会を開催。今後の効果的な支援のPDCAサイクルの構築を図る為実施状況を報告し成果について評価を行った。結果について次年度以降の計画の参考にするとともに、当所ホームページで公表した。

【令和7年度の取組】

令和6年度をもって本計画は終了となった。令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間、毎年、取組状況を報告し、委員の皆様から評価・ご意見を計画の改善や支援の充実に活かしてきた。

令和7年度は、令和7年4月1日から令和12年3月31日までを期間とする新たな5か年計画が承認されたことから、本計画に沿って実施していく。今後も、商工会議所による支援の一層の効果向上に努めていくものとする。

経営発達支援計画運営・評価委員会開催結果について

1. 日 時 令和7年7月29日（火） 11:00～12:00
2. 場 所 高松商工会議所会館 4階 403会議室
3. 出席委員 4人
4. 審議事項 令和6年度実施事業の評価等について
5. 結 果

当所事業推進部長による開会挨拶の後、運営・評価委員会規程第3条第3項により、委員長が議長となり議案審議を行い、審議事項について、各委員から以下のとおり意見・評価があり今後の取組みに反映することとした。

○全体

- ・目標値に対しての達成率が素晴らしいので、引き続き継続していただきたい。

○事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・「売上増加事業者数」「利益率5%以上増加の事業者数」について、目標値の分母が決算書を2期分取得できた事業所を分母とするならば、目標に対する達成率(%)はあまり意味が無いのではないかと。
- ・約半数の事業所数が、利益率5%以上向上させることが出来たのはすごい成果だと思う。多くの事業者にとって、販路開拓は重要な経営課題であるが、販路開拓支援を強力に推進していることが感じられる。決算書を取得して利益率が高められるのであれば、今後も取組を周知すれば、より良い方向に向かって行くと思う。
- ・利益率5%以上増加の事業所について、これは過去に事業計画を策定された先が、分母になるのでしょうか。成果は対外的にアピールしているのでしょうか。5%以上の利益率改善することは素晴らしいので、引き続き成果をアピールしたら良いと思う。

以上